

作成風景

トヨタループスで行ったハンドブックの作成風景をご紹介します



8 ハンドブック作成

① デザイン

Before 目立たず印象に残りにくい……

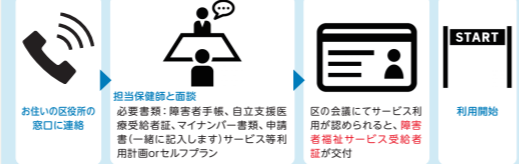
【申請手続き】

お住いの区役所の窓口へ連絡 → 担当保健師と面談
 必要書類：障害者手帳、自立支援医療受給者証、マイナンバー書類、申請書（一緒に記入します）サービス等利用計画orセルフプラン
 ↓
 区の会議にてサービス利用が認められると、**障害者福祉サービス受給者証**が交付
 ↓
 利用開始

文字だけで構成された原稿が……

After 目について覚えてもらえる!!

【申請手続き】



パッと見てわかるデザインに！

未来を紡いでいきたい

「お客様の要望を直接聞き、期待に応えられる仕事をする」これが私の希望している仕事のスタイルであり、目標です。今回はその希望や目標を達成することができました。デザインから製本までトヨタループスに任せていただきありがとうございました。作成にあたり、最初は「一人で60ページ以上のデザインができるだろうか」と不安に思っていました。しかし、お客様や上司の良い反応が力となり、乗り越えることができました。経験の少なさは理由になりませんが、リモート会議を上手く活用したり、もっとお客様に伝わる表現ができるようになりたいです。

表紙デザインのコンセプトは、色んな方向に向かって飛んでいく紙飛行機から、「**全ての人に様々な可能性がある**」ことを表現しました。私自身も今回の仕事で一つの目標が具現化できたと思います。これからも向上心を持ち続け、未来を紡いでいきたいです。

■デザイン担当 村瀬



② 印刷工程



いつもの作業と同じように汚れや色ムらに気を付けて印刷を行いました。このハンドブックをご利用されるたくさんの方に見てもらえると嬉しいです。

③ 製本工程



見開きページの境目が綺麗に繋がるように丁寧に揃えました。一生懸命作ったので僕たちの品質に対する思いを見てください！

おわりに

障害者権利条約の批准に伴う諸制度の整備と改定、そして東京でパラリンピックでの障がいのある人たちのパフォーマンス、日本では障がいのある人たちの就労に、追い風が吹いているように感じています。文京区障害者地域自立支援協議会就労支援専門部会では、ワーキンググループを中心に、およそ2年かけて「文京区版障害者就労支援 HANDBOOK」(以下ハンドブックとする)を作成し、この度刊行することができました。関わってくださった多くの方々に深く感謝申し上げます。

「就労支援」と言っても、単に就職することの支援にとどまりません。就職の準備、そのための生活基盤の安定、就職先の開拓、関係づくり、就職後のサポート等、多角的で重層的な支援が必要であり、文京区内に限ったとしてもそのすべてを網羅することは困難です。そのため本ハンドブックの内容も、その困難性から文京区内の相談窓口と主だった支援先の掲載にとどまっています。しかしながら、本ハンドブックを支援者、家族、教員、友人等と共有していただき、「働くこと」に関するコミュニケーションの一つのツールとして使うことで、新たな道が見えてくるのではないのでしょうか。ハンドブックがその旅の一助になることを祈念しております。

東洋大学社会学部教授・
 文京区障害者地域自立支援協議会 副会長
 志村 健一

